

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)県立方面特別支援学校	階数	地上3F
建設地	海老名市中新田四丁目1251番1	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域 その他の地域なし	平均居住人員	370 人
気候区分		年間使用時間	1,730 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年6月 予定	評価の実施日	2014年10月26日
敷地面積	12,547 m ²	作成者	株式会社 日比野設計
建築面積	6,244 m ²	確認日	2014年10月26日
延床面積	10,370 m ²	確認者	株式会社 日比野設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: A: B: B+: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

参照値: 100%

建築物の取組み: 83%

上記+: 83%

上記+: 83%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 2

LR1 エネルギー: 1

LR2 資源・マテリアル: 1

LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 3.3**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.4**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	2つの障害(肢体不自由、知的障害)特性に配慮した静かで落ち着ける教育環境と安全な施設を目指した。採光、通風(中間期)に配慮した建物配置、効率のよい設備機器を選定し環境に配慮している。また、照明は新築時にLEDを採用、太陽光発電設備は将来導入予定であり、架台を設置している。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
外壁開口部はT-2を標準仕様とし、界壁はガラスウールを充填し室内の音環境の向上に努めている。また外部開口部は庇があり、内部にカーテンが標準設置される。	特別支援学校であるため、移動円滑化基準を満たしている。教室の天井高さはH=2.8mとして広さに寄与している。	建物をセットバックさせ、隣地への日照の確保し、圧迫感の軽減をしている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物は中庭を設け、教室が南側配置になるよう配慮し、通風と採光を確保している。	自動水洗や節水型便器を使用し、矩体はペンキ仕上げとしている。	PAL、CECを考慮した機器を選定するとともに、駐車場、駐輪場を可能な限りもうけた。また車輛の出入口も周辺の交通状況を踏まえ、位置を決定している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される